

2016希望郷いわて大会 (全国障害者スポーツ大会) ボランティア募集

平成28年10月22日(土)～24日(月)に「2016希望郷いわて大会(全国障害者スポーツ大会)」が開催されます。

岩手県では、大会の運営にご協力いただける運営ボランティアを募集しています。高校生以上(平成28年度現在)の方ならどなたでもご応募いただけます(中学生は保護者の同意があれば可)。皆様のご協力をお願いいたします。

◆開催地

盛岡市、花巻市、北上市、一関市、奥州市、雫石町

◆運営ボランティア

(1)開・閉会式運営補助

案内受付、会場整理、会場美化、会場サービス、式典運営補助など

(2)競技会運営補助

案内受付、会場整理、会場美化、会場サービスなど

◆ボランティア募集期間

平成27年4月1日(水)～
平成28年3月31日(木)

◆問い合わせ先

希望郷いわて大会実行委員会事務局
(岩手県国体障がい者スポーツ大会局 総務課 県民運動担当)

☎ 019 (629) 6297
fax 019 (629) 6299

全国障害者スポーツ大会キャラクター



表紙写真●笑顔の福祉

住田町社会福祉協議会では「施設に頼らずに支えあう場所づくり」「高齢者の外出機会を提供し、介護予防につなげよう」と、まちなかに中心型よりあいカフェ「しょうわばし」を開設しました。誰もが気兼ねなく寄り合えるカフェでは月1回、イベントが開かれ、七夕のこの日は職員らスタッフがゆかた姿で交流しました。



清光学園に勤務した当初は、すべてが初めての経験であり戸惑う事の連続でしたが、先輩職員に助言をいただき、また、子ども達と生活を共にする中で、徐々に気持ちに余裕を持つ事ができるようになってきたと感じています。

その一方で、子ども達のバリエーションや豊かな創造性に圧倒される事も少なくありません。我々大人では考えつかないような発想や行動に、時には大笑いし、時には職員も一緒に遊んだり、また時には本気で叱る事もあります。子どもの持つ無限の力にはいつも感心させられますが、それに負けないよう子どもと正

面から向き合い、本気でぶつかったりするような指導員を目指し、日々奮闘しています。

学園に勤務して以来、ずっと中学生・高校生の男子を担当しています。昨年は高校3年生の生徒を受け持ち、初めて退園生を送り出しました。

高校卒業後の進路について二人で一緒に考え、悩み、無事就職が決定した時の喜びは今でも忘れられません。一人の高校生を社会人として世の中に送り出すという貴重な経験を得られた事は、今後の私にとって大きな自信に繋がるものと確信しています。

現在、清光学園は大舎制のもとで児童のケアに当たっていますが、より家庭的な雰囲気での養護を目指し、小規模グループケアに加えて昨年から新たに地域小規模施設を開設しました。

今後は、本体施設もユニッ

トケア型への移行が計画されており、それに伴い児童、また職員の環境も大きく変化する事が予想されます。私自身も更に研鑽を積んでいかなければならないと感じています。

今回この原稿を書くにあたり、自分自身の仕事について振り返る良い機会を与えていただき、とても感謝しています。改めて気がついたのは、やはり「自分は子どもが好きだ」という想いです。書いている最中でも沢山の子ども達の顔が自然に浮かんできました。

勿論「好き」だけでは務まらない非常に厳しい仕事ではあります。やはり根底にあるのは子ども達への愛情であると思います。

これからも子ども達の心に寄り添い、子ども達の幸せを願いながら共に歩んでいきたいと思っています。

上司からのメッセージ

子どもと共に

主任児童指導員
大畠 直人



高橋指導員は今年度で指導員3年目となります。就職した当初は寡黙で冗談も言いづらい雰囲気を感じていましたが、当学園の濃いキャラクター達にあってという間に染まり、今では当学園に欠かすことのできない存在となりました。

彼の真面目で着実に業務をこなす姿や、子どもに真剣に向き合い、喜怒哀楽を共にしながら一緒に成長していく姿は後輩職員の良い手本となっており、子ども達自身も彼に対し全幅の信頼を寄せていると感じています。子どもに対する支援に完璧な正解はありませんが、今後も自分の支援を常に見直す姿勢を大切にしながら、未来を担う子ども達のために共に日々精進していくことを期待しています。

子どもたちの幸せを願って

清光学園 特別指導員 高橋 健祐

児童養護施設の清光学園に勤務して、今年で3年目になります。下は3歳の女の子から、上は自立を控えた高校3年生の生徒まで、様々な子ども達に囲まれ充実した毎日を送っています。

清光学園に勤務した当初は、すべてが初めての経験であり戸惑う事の連続でしたが、先輩職員に助言をいただき、また、子ども達と生活を共にする中で、徐々に気持ちに余裕を持つ事ができるようになってきたと感じています。

その一方で、子ども達のバリエーションや豊かな創造性に圧倒される事も少なくありません。我々大人では考えつかないような発想や行動に、時には大笑いし、時には職員も一緒に遊んだり、また時には本気で叱る事もあります。子どもの持つ無限の力にはいつも感心させられますが、それに負けないよう子どもと正

面から向き合い、本気でぶつかったりするような指導員を目指し、日々奮闘しています。

高橋指導員は今年度で指導員3年目となります。就職した当初は寡黙で冗談も言いづらい雰囲気を感じていましたが、当学園の濃いキャラクター達にあってという間に染まり、今では当学園に欠かすことのできない存在となりました。

彼の真面目で着実に業務をこなす姿や、子どもに真剣に向き合い、喜怒哀楽を共にしながら一緒に成長していく姿は後輩職員の良い手本となっており、子ども達自身も彼に対し全幅の信頼を寄せていると感じています。子どもに対する支援に完璧な正解はありませんが、今後も自分の支援を常に見直す姿勢を大切にしながら、未来を担う子ども達のために共に日々精進していくことを期待しています。